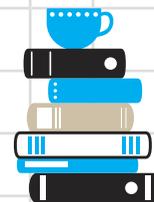


令和
7年度

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 高松 Apple



○事業所名	COMPASS高松Apple		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日	～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日	～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業所を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されております。複数の地域に事業所があるため、不明点については指定権者へ確認をおこない、法令に基づいた適切な事業所運営に努めております。	ご利用様が楽しみながら通っていただける事業所、成長を感じられる事業所、安心して通っていただける事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	高松エリアに複数の事業所があり、小学校への送迎等を通して職員同士が日常的に意見交換できる体制を整っております。	送迎業務においてエリア内の職員が関わることで、児童の状況や課題について共有し、多角的な視点から支援方法の検討に努めております。	グループ内の情報共有の場に参加できる環境を整えていくことで、事業所の課題、エリアとしての課題を周知することができる機会を設けられるよう、努めてまいります。
3	多機能型事業所として幅広い年齢層の児童が在籍しており、コミュニケーション面に課題のある児童に対しても、余暇時間等を活用した支援がおこなえる環境となっております。	集団活動や余暇時間において職員が適切に介入し、異年齢交流の促進を図っております。また、共通の興味関心を活かしながら、段階的に職員の関わりを調整し、自主的な関わり形成に努めております。	余暇時間における遊具や活動内容の充実を図るとともに、複数人での関わりや物の貸し借り等の経験が積める機会の確保に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実際の活動スペースについて、放課後等デイサービスの児童にとっては狭く感じられる場面があるとの課題があります。	もともと児童発達支援を主とした設備や家具配置となっているため、小学生以上の児童にとっては活動スペースが狭く感じられることが要因と考えております。	事業所内の家具配置や動線を見直し、より広く安全に活動できるスペースの確保に努めてまいります。
2	児童の利用時間の違いにより、職員間での情報共有の機会が限られる場合があることが課題として挙げられます。	多機能型事業所であるため利用時間にばらつきがあり、全職員が同時に情報共有をおこなう機会が確保しにくいことが要因と考えております。	ミーティングノートや共有ツールの活用を継続し、必要な情報が確実に伝達される体制を整えることで、情報共有の徹底に努めてまいります。
3			



公表日：令和8年3月18日